

【R5年度】重点目標の取組・概要 (地域活動支援[地区市民協議会支援事業・市民活動団体支援事業・市民活動サポートセンター運営事業])

担当課（内線）	自治振興課（内線2106）	重点目標の方向性	地域活動の活性化に向けた支援
重点目標	地域課題を解決する仕組みづくりの実現	行政の役割	地域コミュニティ活動を支援するとともに、市民活動に参加しやすい環境づくりを進める
現状と課題		課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）	
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校区ごとに地区市民協議会を設置し、避難訓練などの活動をとおり、地域コミュニティの推進に努めている。 ・市民活動団体がそれぞれの活動をとおりして、地域課題の解決に取り組んでいる。 <p>【課題】</p> <p>役員及び活動の担い手不足、行事等運営の在り方</p>		<p>【中期的(4～5年後)にめざす成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期的には、市民や転入者、市内在学・在勤者等に市民活動団体の周知を図ると共に、団体の育成、支援を行う。長期的には地域コミュニティの活性化、活動の担い手を増やす。 <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <p>（R5）地区市民協議会への補助金の交付を行うと共に、市民活動サポートセンターを運営し、地区市民協議会が抱える諸問題の把握、地域課題解決のための支援策を検討・構築する。</p> <p>（R6以降）引き続き地区市民協議会への補助金交付、市民活動サポートセンターを運営し、前年度の課題を踏まえ支援を行う。</p> <p>【R5年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動サポートセンターに委託料を支出し、市民活動団体からの相談業務や団体運営に必要な講座、交流会等を開催する。また、団体や個人などを結び付けるコーディネート業務を行うとともに、地区市民協議会の課題の抽出を行い、必要なアドバイザーの派遣を行う。 ・市民活動団体を、様々な媒体、方法により広く活動紹介を行うとともに、団体が自ら情報発信できるよう支援を行う。 ・ガバメントクラウドファンディングを活用し、NPO法人などの非営利活動団体の資金面での支援を行う。 ・地区市民協議会への補助金を交付し、地域活動を支援するとともに、圏域ごとで地域課題に沿った講演会が開催できるよう支援する。 	
R5年度の事業費（内訳）			
<ul style="list-style-type: none"> ・地区市民協議会への補助金 13,392千円 ・地区市民協議会講師謝礼（6圏域分） 120千円 ・地区市民協議会交流研修会 82千円 ・市民活動サポートセンターへの委託料 8,500千円 <ul style="list-style-type: none"> うち人件費 7,247千円 うち事業費 900千円 うち事務費 353千円 ・ガバメントクラウドファンディングの実施 34千円 			

R 6 年度以降の想定事業費（ランニング経費）	取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い
<div><div><div>(R 6) 補助金 13,400千円（市民協議会補助金） 委託料 8,876千円（サポセン委託料） 交付金 3,000千円（G C F 交付金）</div><div>(R 7) 補助金 13,400千円 委託料 8,876千円 交付金 3,000千円</div><div>(R 8) 補助金 13,400千円 委託料 8,876千円 交付金 3,000千円</div></div></div>	<div>市民意識調査において ・この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがある市民の割合 19.7%→22.0%（2022→2026） ・地区市民協議会の活動を知っている人の割合 ※2023年から調査開始 ・市民活動サポートセンターの利用者数 1,814人→1,840人（2021→2025）</div>	<div><div>(R 6) 前年度を踏まえ改善 (R 7) 前年度を踏まえ改善 (R 8) 支援方法を見直し (R 9) 支援方法を見直し</div></div>

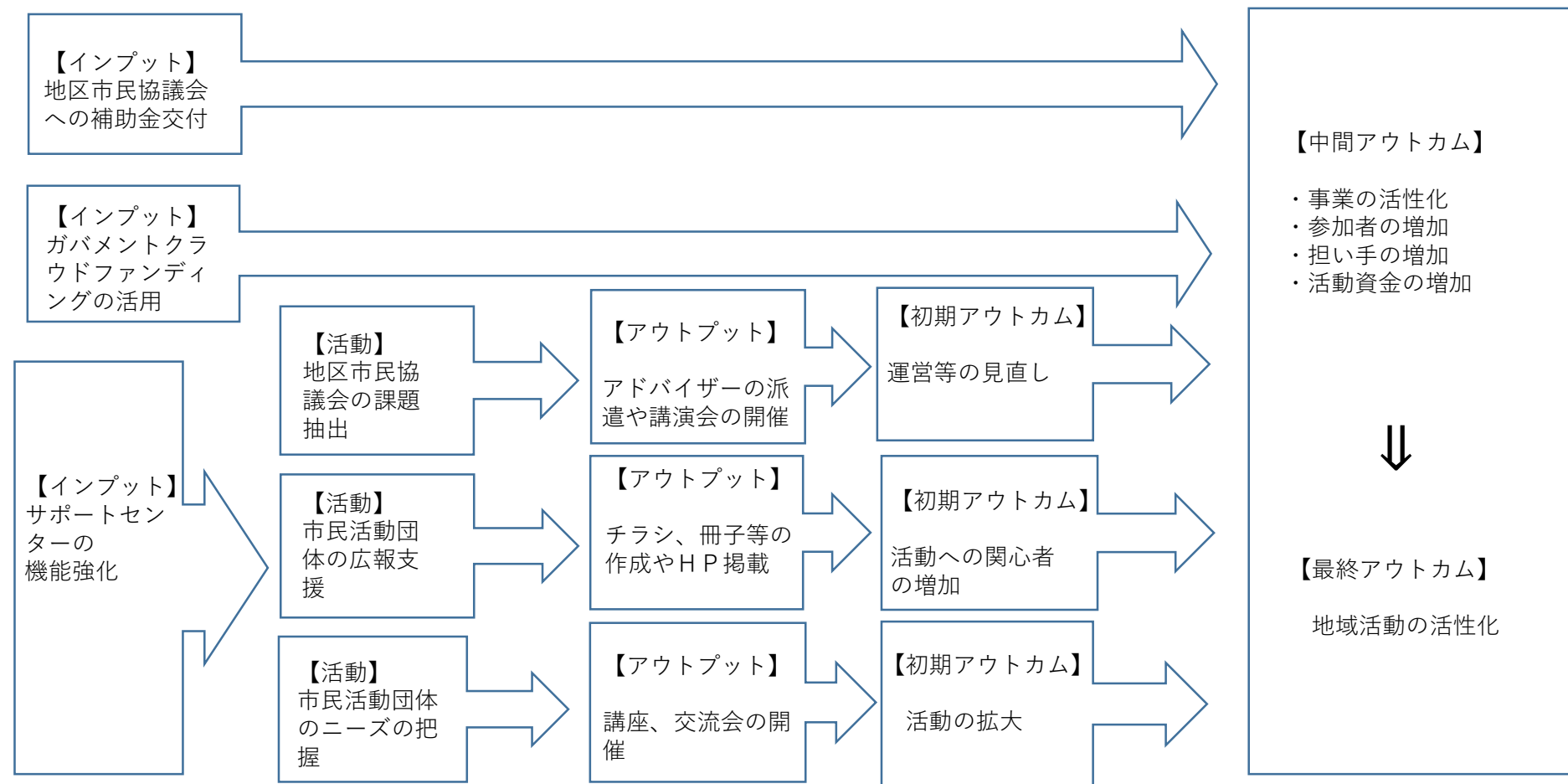
(R8) 補助金 13,400千円

委託料 8,876千円

交付金 3,000千円

【R5年度】重点目標の取組・ロジックモデル（地域活動支援）

ロジックモデル【事業立案時点】



その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について など）

【財源】
一般財源
基金（ふるさと納税）

【R 5 年度】重点目標の取組・評価シート①（地域活動支援）

担当課（内線）	自治振興課（内線2106）	重点目標の方向性	地域活動の活性化に向けた支援
重点目標	地域課題を解決する仕組みづくりの実現	行政の役割	地域コミュニティ活動を支援するとともに、市民活動に参加しやすい環境づくりを進める

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- ・ 中期的には、市民や転入者、市内在学・在勤者等に市民活動団体の周知を図ると共に、団体の育成、支援を行う。長期的には地域コミュニティの活性化、活動の担い手を増やす。

■ R 5 年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- ・ （R 5）地区市民協議会への補助金の交付を行うと共に、市民活動サポートセンターを運営し、地区市民協議会が抱える諸問題の把握、地域課題解決のための支援策を検討・構築する。

■ R 5 年度において実施・実現できたこと

- ・ 地区市民協議会への補助金交付（20地区市民協議会）
- ・ 地区市民協議会事務局長会議の実施 2回
- ・ 地区市民協議会交流研修会の実施 1回
- ・ 地区市民協議会圏域別交流研修会の実施 1圏域
- ・ 市民活動団体へのニーズ調査実施
- ・ 市民活動団体への新たな補助金（GCF）を創設し、資金調達支援を実施
- ・ 市民活動サポートセンターを委託運営し、相談業務やコーディネート業務、団体運営に必要な講座等を開催し、市民活動を支援
- ・ 市民活動サポートセンターによる地域課題や地区市民協議会への伴走支援

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指 標 名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R 5 年度実績値
○	この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがある市民の割合	%	19.7（2022）	22.0（2026）	23.4
○	地区市民協議会の活動を知っている人の割合	%			26.3
○	市民活動サポートセンターの利用者数	人	1,814（2021）	1,840（2025）	測定中
○	地区市民協議会の運営等の見直しの伴走支援数	団体		6（2026）	3

【R5年度】重点目標の取組・評価シート②（地域活動支援）

■ R5年度において実施・実現できなかったこと

- 周知が不十分だったことから、地区市民協議会の各圏域毎の交流研修会を6圏域で実施する予定だったが、1圏域のみの実施であった。
- 市民活動団体のニーズを把握し、講座等は開催できたが、市民活動団体の広報支援を十分行うことができなかった。



■ 課題分析

- 地区市民協議会への課題解決支援について、検討が必要
- 地区市民協議会の圏域内の繋がり の構築が必要
- 地縁団体と市民活動団体や企業等が協働できるような支援方法について検討が必要
- 活動が広がるような広報支援の検討が必要



■ ロジックモデルの振り返り

- 地区市民協議会の運営等の地域課題に対する取組支援は実施しているが、解決までは至っていない。
- 市民活動、地域活動の関心者及び参加者は、増えつつある。
- ロジックモデルにおいて、想定したアウトカムが発現していない。今後、アウトカムの発現に資する活動及びアウトプットへと改善する。



■ 次年度以降の予定・改善内容

- 引き続き地区市民協議会への補助金の交付を継続しながら、必要な支援を行う。
- 市民活動団体のニーズの把握に努めながら市民活動サポートセンターの機能を強化を図る。
- 活動初動期の市民活動団体に対し活動資金を支援する制度を新たに創設するとともに、運営のサポートを行う。
- 団体の活動を支援するとともに、公共私 の協力関係が構築できるよう検討する。